取扱説明書

DAYTONA corp.
R70783①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

アジャスタブル リヤショック	適応車種	商品NO.
	APE50/100	70783/70350

■ご使用前に必ずご確認ください■

- ■ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
- ■ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- 排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中でエンジンを掛け続けると、一酸化炭素中毒の恐れがありますので、必ず十分な換気を行ってください。
- この商品を取り付ける際は、車両のジャッキアップ等、危険な作業を行います。作業全般において、車両転倒等により、重大な事故・怪我をする可能性があります。

分解禁止

- この商品に、曲げ・切削・溶接等の追加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には加工しないでください。
- この商品を分解しないでください。

⚠注意

実施

- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使い、それぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで必ず締め付けてください。
- 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- 作業を行う際は、必ずエンジン冷間時に行ってください。火傷を起こす原因となります。

2013/09/19

- 本商品には、エッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して行ってください。ケガの原因となります。
- 取り付けたボルト・スクリュー・ナットは、取り付け後１００ｋｍほど走行した時点で、必ずトルクレンチを使って規定トルクで増し締めをしてください。緩んだまま走行を続けると事故につながる恐れがあります。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検し、緩んだ個所があれば同様の増し締めを行ってください。
- この商品の取り付けにあたっては、オートバイ販売店もしくは認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行って頂く必要があります。専門外の方が作業を行うと、けがや火傷等の恐れがあり大変危険です。従って、この商品の取り付けは専門のオートバイ店もしくは認証整備工場へ依頼し、装着を行ってください。

法令違反

- この商品は、道路運送車両法および道路運送車両の保安基準に適合しております。ただし一般公道において制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法(速度超過違反)によって罰せられます。一般公道では遵法運転を心掛けてください。
- ライディングマナーを守り、急発進・急加速・空ぶかしはやめましょう。また早朝や深夜等も静かな走行を心がけてください。

その他

- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方(販売店も含む)は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所(バリ、突起物)無き事を確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- この商品は記載されている適応車種以外の車両には、使用しないでください。
- 走行中に異常が発生した場合には、直ちにオートバイを安全な場所に停車させ、異常個所を点検してください。
- リヤショックを交換すると、制動能力、オートバイの性能が向上します。特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して運転してください。
- 説明書に書かれている指示を無視した使用方法により事故や損害が発生した場合は、当社は一切その責任を負いません。
- この商品或いはこの商品を取り付けたオートバイの第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- この商品は、予告なしに仕様または価格を変更する場合があります。また、本文中にご紹介した商品についても、予告なしに仕様または価格を変更する場合があります。予めご了承ください。
- 万一お気付きの点がございましたら、お買い求め頂いた販売店にご相談ください。
- 性能向上のため、関連パーツで必要となる商品がございます。本説明書では関連パーツの商品に関しては、取り付け手順を省略しております。予めご了承ください。
- 取り付けに入る前に必ず作業の安全を確保した上で作業を行ってください。走行前に各ケーブル類の取り回しおよび作動は正常か、車体側と挟んでいないか必ず確認してください。
- リヤショック装着後は、慣らし運転を行ってください。この慣らし運転はライダー自身が、純正リヤショックとの制動の違い等を理解して頂くためのものです。
- リヤショックの取り付け長は 263mm 以上にも長くすることは可能ですが､263mm以上の長さで装着すると、リンクアームに接触する為、装着不可とさせていただきます。
- ロングスイングアームとの同時装着はリアショックのバネレートが合わなくなるため、お奨めしません。

商品の特徴

- 取付け長：259mm～263mm。車高で約 15mm変化します。
- スプリングプリロード無段階調整式。
- スプリングに合わせた最適の減衰力特性。
- リーンフォースドスイングアームと同時装着可能。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	アジャスタブルリヤショック	263mm	1
②	ボルト	M8x55	1

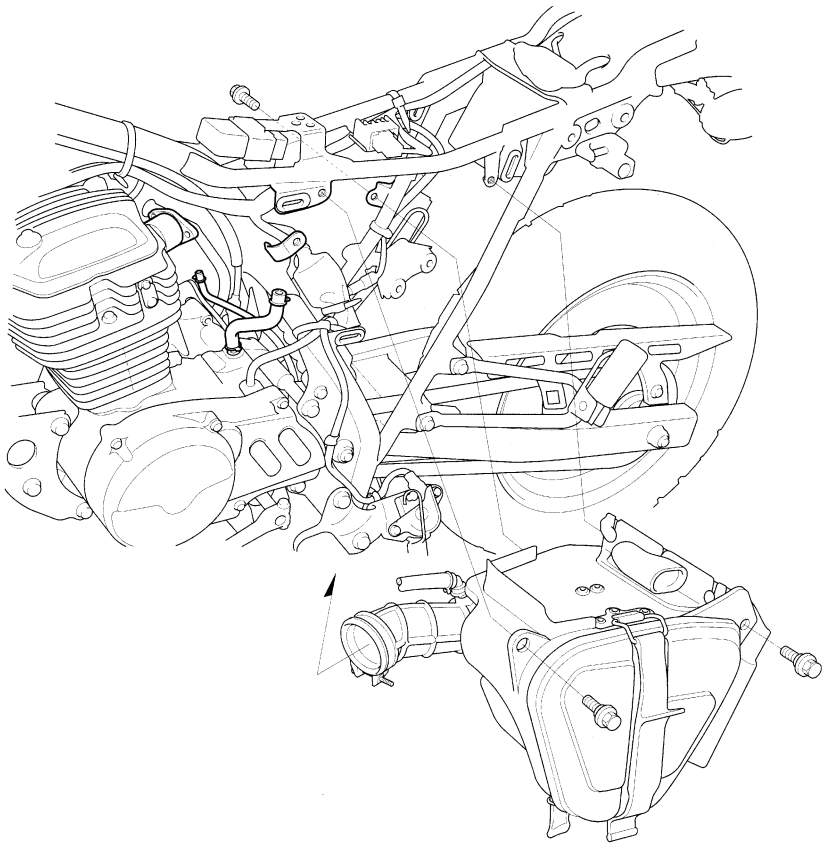
取付方法

【取り外し】

※あらかじめジャッキ等を使用し、車体後方を持ち上げた状態で作業してください。

1. シートを止めている左右二本のボルトを外し、シートを外します。
2. タンクを止めているボルトを外し、タンクを外します。（タンクを外す前にタンク左下にある燃料コックをＯＦＦにしてホースを抜きます。抜いたときにホース内やコックから、多少の燃料がこぼれる可能性があるので、ウエス等用意してください。）
3. 右側のサイドカバーのボルトを外し右側のサイドカバーを外します。
4. 左側のサイドカバーを外します。
5. エアクリーナーボックスを止めている左右二本のボルトとホース類を外し、エアクリーナーボックスを外します。（このとき、エアクリーナーボックスは片側ずつ外すようにする。）※図１参照
6. リヤショックの下側のボルトを外します。
7. リヤショックの上側のボルトを外し、リヤショック本体を取り外します。

図１



【取り付けの前に】

取付けの前に予め取付長とスプリングセット帳を以下の基本データを参考に合わせてください。調整方法は⑤/⑤を参照してください。

品番	スプリング色	取付長（mm）※1	標準スプリングセット長（mm）※2	スプリングセット長調整範囲（mm）
70350	レッド	259~263	100	103mm以下
70783	ブラック			

※1　ノーマルのスプリング取付長は 263mmです。

※2　スプリングセット長を調整すると空車１Ｇが減るため、取付け長がノーマルと同じ 263mmでもシート高は変化します。

例）スプリングセット長 95mmでは、シート高は約 5mm上がります。

スプリングセット長 103mmでは、シート高は約 20mm下がります。

【取り付け】

1. アジャスタブルリヤショックを純正リヤショックと同じように装着し、リヤショックの上のボルトを差し込みます。

※リヤショックの下のボルトは、②ボルト（M8x55）を差し込みます。（このとき、スイングアームを少し持ち上げながらボルトを差し込みます。一人で作業するときは、ジャッキなどでリヤタイヤを持ち上げておくと作業がしやすくなります。）

2. リヤショック上下のナットを止めます。

※上側 締め付けトルク：44N・m

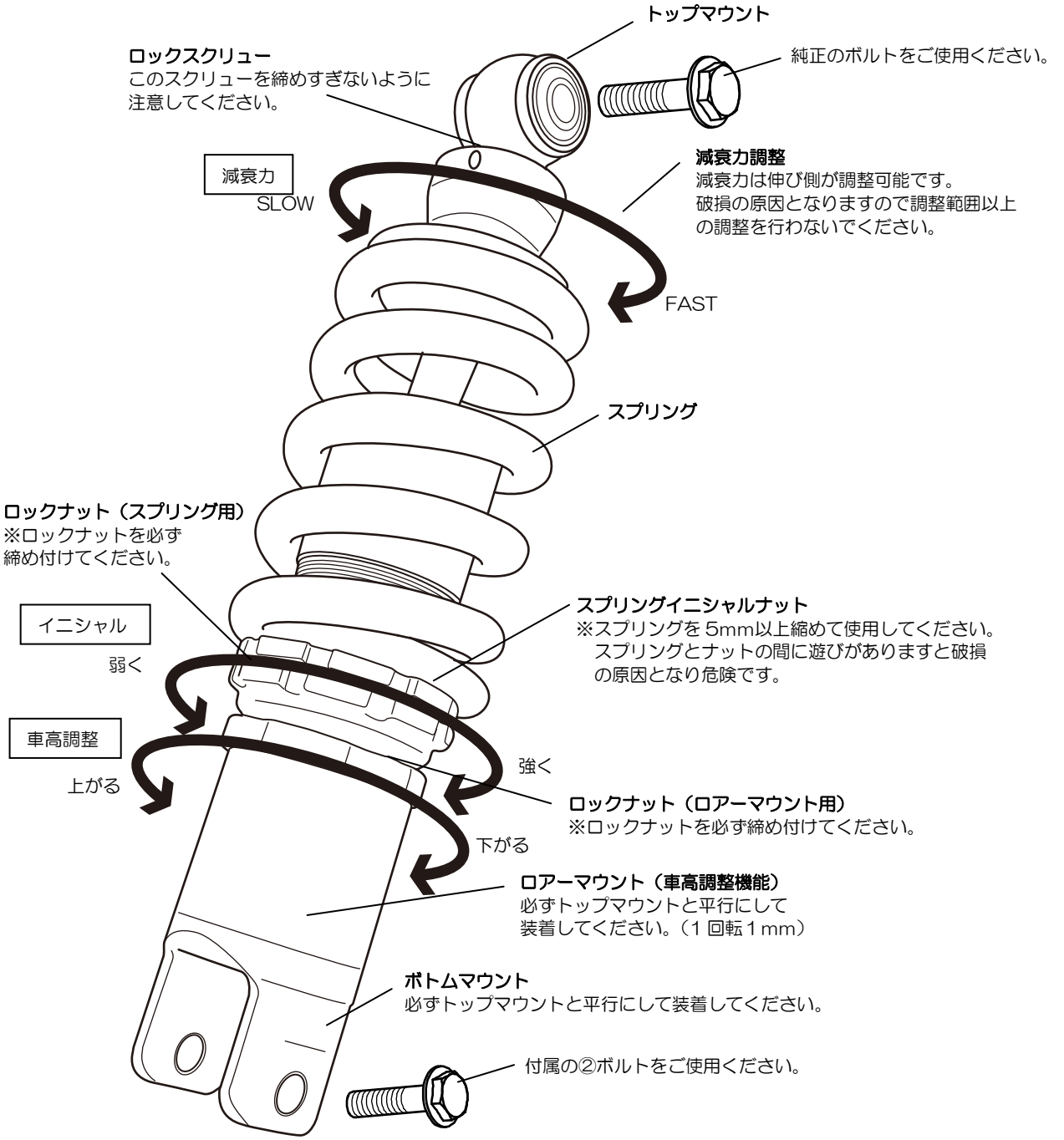
※下側 締め付けトルク：34N・m

3. ここで、フレームを押すなどして、リヤショックが正常に機能しているか確認してください。
4. エアクリーナーをしっかりとフレームの中に入れ、左右２本のボルトで止めます。
5. 左側のサイドカバーを取り付けます。
6. 右側のサイドカバーを純正ボルトで止めます。
7. タンクを取り付けます。(このときタンク前側の突起部にタンクがしっかりはまっているか確認してください。)
8. タンク取り付けのボルトを締めます。
9. シートを取り付けます。（このときシート前側が外れないようにタンクがしっかりはまっているか確認。）
10. シート取り付けボルトを左右二本締めます。

【スプリングプリロードの調整方法】

1. 調整は、アジャスタブルリングスパナ６５mm対応を２本使用してください。
2. スプリングプリロード調整は、ロックナット（スプリング用）を緩め、スプリングイニシャルナットの位置により調整します。
3. スプリングイニシャルナットの調整では、バネを縮める方向にナットを締めこんでいくと乗り心地が硬くなり、バネを伸ばすようにして緩めていくと柔らかくなります。
4. 尚、調整後は必ずロックナット（スプリング用）の締め付けを確実に行ってください。

車高調整	：車高を上げると旋回性は良くなりますが、安定性は落ちます。
イニシャル	：締め込むと動きにダイレクト感が出て、逆に緩めると乗り心地が良くなります。
減衰力（伸び側）	：強くしますと安定性は増えますが、トラクションが鈍くなり重くなる感じになります。



東証JASDAQ上場 株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで